

# 文化・スポーツレガシープロジェクトの推進と令和6年度の取組

## 目指す姿

### 県内各地で文化芸術・スポーツの「特色あるまちづくり」が進展

～地域資源や強みを生かし、文化芸術・スポーツにあふれた活力ある地域づくりを目指して～

## 現状と課題

### ① 文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進

#### 【現状】

- ・国内最多の3つの世界遺産や、指定数日本一を誇る無形民俗文化財を核とした交流人口・関係人口拡大や、特色ある地域及びコミュニティづくりの機運が広がっている。
- ・復興支援を契機として生まれた著名な芸術家と地域とのつながりが深まっている。
- ・合唱や吹奏楽など音楽分野での子ども達の全国的な活躍が増えており、県民の文化芸術分野への関心が高まっている。
- ・障がい者による文化芸術が、民間企業の事業展開等により注目されてきており、本県のこれまでの取組を生かし、共生社会の実現に向けた取組を進める機運が醸成されてきている。
- ・マンガを通じた岩手の魅力発信を国内外に向け継続実施しており、今後、フランス・アルザス地域に設置予定の日本のマンガ等を取り扱う博物館との連携への発展が期待できる。

### ② スポーツの力による健康社会の実現と人的・経済的交流の推進

#### 【現状】

- ・本県で相次いで大規模スポーツ大会が開催され、スポーツ施設、大会運営のノウハウ、おもてなしの精神等を生かした取組を進めることができる環境が備わってきている。
- ・岩手県ゆかりの選手の世界的・全国的な活躍が相次ぎ、県民が誇りや希望に溢れており、令和5年4月にオープンした「きたぎんボールパーク」等が、更に多くの岩手県の子ども達が全国や世界へ飛躍する後押しとなっていくことが期待されている。
- ・障がいのある人もない人も身近な地域で共に楽しむインクルーシブスポーツの機会創出に向け、各地域で推進体制の構築が進められている。
- ・最新のスポーツ医・科学の知見を生かしたアスリート育成や指導者養成の活動により、心技体における効果的な競技力向上が進められている。

#### 【課題（取り組むべきこと）】

- ・本県の得意分野をさらに伸ばしつつ、その盛り上がりをこれまで以上にPRし、交流人口・関係人口の拡大と地域の活性化につなげていく必要がある。
- ・各分野における最新の動向や最先端の技術等を取り入れながら、新たなレガシーを生み出していくための取組を推進する必要がある。

## 今後の展開

### ①文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進

- 【文化芸術の地域資源や強みを生かした活力ある地域づくりの推進】
- ・県内各地の強み（世界遺産、民俗芸能）や本県としての得意分野（障がい者芸術、マンガ）を生かした地域活性化と魅力向上
- ・復興支援などのつながりを生かした国内外との交流の推進

### ②スポーツの力による健康社会の実現と人的・経済的交流の推進

- 【スポーツの地域資源や強みを生かした活力ある地域づくりの推進】
- ・誰もがスポーツを楽しむことができる環境の整備、各地域の特色を生かしたスポーツ拠点づくりの推進
- ・最新のスポーツ医・科学の知見を生かしたアスリート育成、健康増進

## 令和6年度の具体的な取組

### ①文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進

- 官民一体による文化芸術推進体制による取組（いわてアーツコンソーシアム推進事業費 5百万円[政プロ費]）
- 「ひらいずみ遺産」等を活用した地域活性化（いわて県南歴史・文化観光推進協議会負担金 3百万円[政プロ費]）
- 復興の絆を生かした交流の推進（復興の絆を活かした文化芸術による次世代育成事業費 7百万円[政プロ費]）
- 障がい者芸術に係る魅力発信（いわてアール・ブリュット未来創造事業費 5百万円）
- マンガ等のメディア芸術を活用した文化的魅力の発信・関係人口の拡大（いわての文化国際交流推進事業費 6百万円[政プロ費]）

### ②スポーツの力による健康社会の実現と人的・経済的交流の推進

- 官民一体によるスポーツ推進体制による取組（いわてスポーツプラットフォーム推進事業費 7百万円[政プロ費]）
- スポーツ医・科学を通じた人材育成や健康増進（スポーツ医・科学サポート事業費 24百万円）
- 障がいの有無、性別や年齢に関わらず、共にスポーツを楽しむ機会の拡大（インクルーシブスポーツ推進事業費 3百万円[政プロ費]）

## 1 文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的経済的交流の推進

### (1) 国内最多の3つの世界遺産

- 「平泉の文化遺産」、「明治日本の産業革命遺産(橋野鉄鉱山)」、「北海道・北東北の縄文遺跡群(御所野遺跡)」が世界遺産登録
- 令和5年8月、世界遺産「平泉」の構成5資産と関連資産5資産を「ひらいずみ遺産」と位置付け、一体的な保存管理、調査研究、活用、発信及び文化観光を推進

### (2) 復興を契機とした取組

- 令和5年5月、日本フィルハーモニー交響楽団と岩手県が連携協定を締結

### (3) 音楽分野における児童生徒の全国的活躍

- 全日本吹奏楽コンクールで北上市立上野中学校が3年連続金賞を受賞
- 全日本小学校合唱コンクールで北上市立黒沢尻北小学校が4大会連続最高賞を受賞

## 2 スポーツの力による健康社会の実現と人的経済的交流の推進

### (1) 大規模スポーツ大会の開催

- ラグビーワールドカップ2019大会、東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー・聖火フェスティバル、日本スポーツマスターズ2022岩手大会、クライミングワールドカップ2022、いわて八幡平白銀国体の開催

### (2) 新しい野球場がオープン

- 令和5年4月、岩手県と盛岡市が共同で整備した「きたぎんボールパーク」がオープン

### (3) 本県ゆかりの選手の世界的活躍

- メジャーリーグで大谷翔平選手が2度目のMVP受賞
- 世界体操選手権で南一輝選手が団体総合優勝、種目別ゆか競技で銀メダルを獲得

### (4) いわてスポーツプラットフォーム

- 官民の連携・協働により、大規模大会や合宿の誘致、県内トップ・プロスポーツチームとの連携等を推進